

# ICT北海道の新たな成長へのチャンスに、挑戦

～ゆとりと豊かさを実感し、幸福な生活を実現～

## 3つの重点的取組

### ▶1.「新たな日常」に向けた地域づくりの推進

- 「新たな日常」を支える情報通信基盤の整備を推進します。
- 新たな生活様式に応じた地域情報化を推進します。
- ローカル5Gを活用したスマート農業等を推進します。

### ▶2.新たなチャレンジの推進

- ICTベンチャーの創出・成長を促進します。
- 新たな技術の研究開発や開発実証を推進します。
- 先導的なICT利活用の研究開発を推進します。

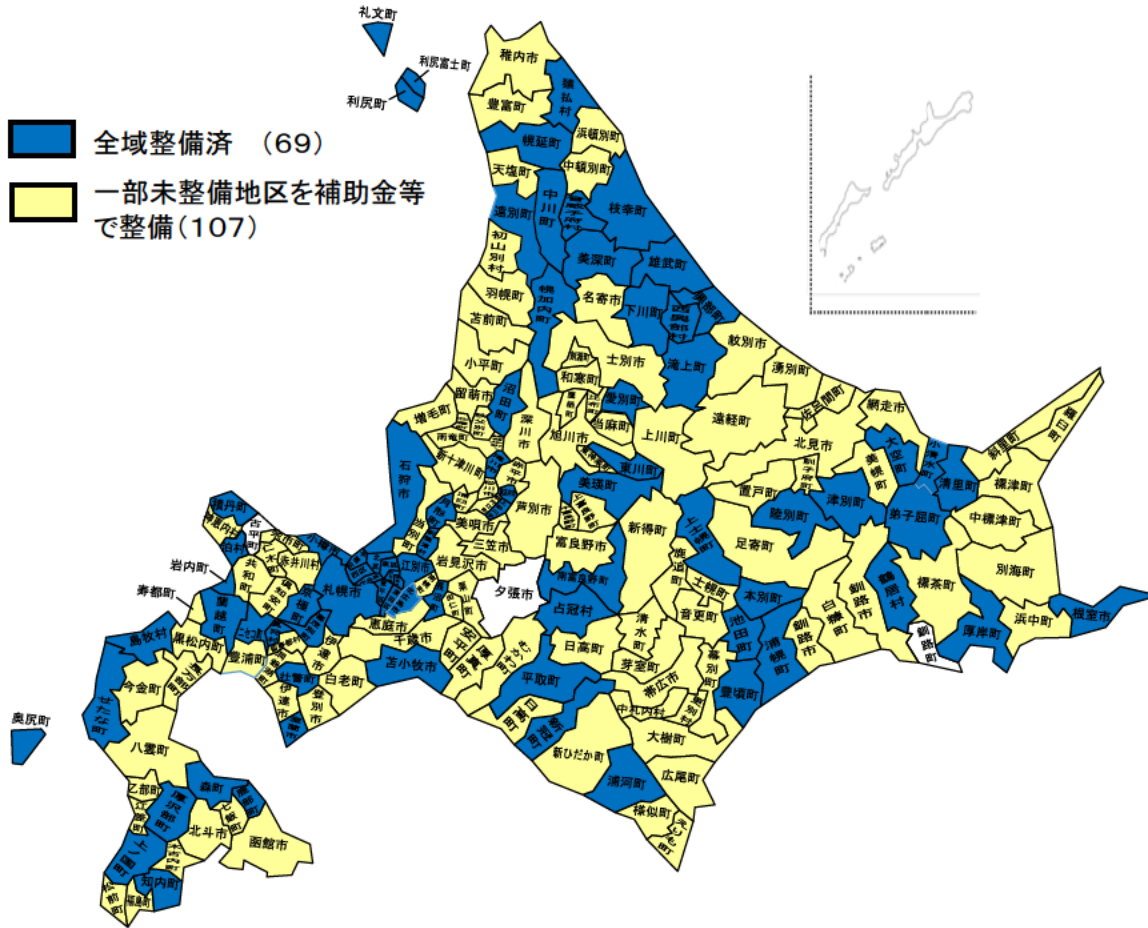
### ▶3.安心・安全な暮らしの確保

- ICTを活用した防災・減災対策を推進します。
- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向け万全の体制を整えます。
- サイバーセキュリティ対策を一層強化します。

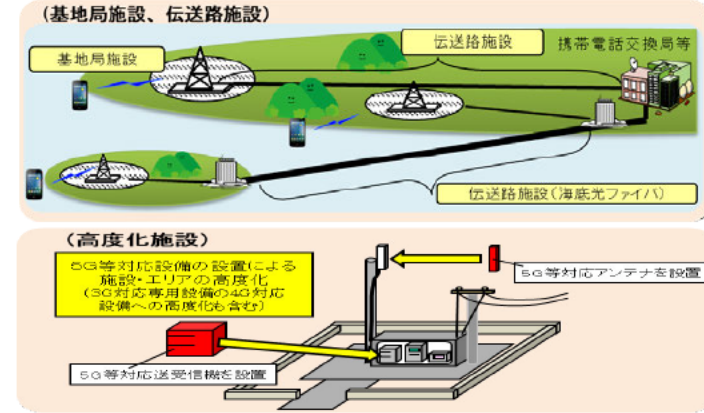
# 北海道におけるICT基盤整備の推進

- 北海道の新たな成長、より豊かで安心・安全な暮らしの実現に向けた基盤となる光ファイバ、5GなどICT基盤整備の推進が極めて重要です。
- 今後、光ファイバ整備、5G基地局の面的整備拡充（令和5年度末までに全国で当初計画の約4倍にあたる約28万局の基地局整備を目指す）等のICT基盤整備、ローカル5Gの導入により、地域課題解決の実現に取り組めます。

## ■光ファイバ整備状況



## ■参考：携帯電話等エリア整備事業



## ■ICT基盤整備に向けた総務省の支援施策

主な支援事業
高度無線環境整備推進事業
携帯電話等エリア整備事業
電波遮へい対策事業
公衆無線LAN環境整備支援事業
放送ネットワーク整備支援事業
地域ケーブルテレビネットワーク整備事業
民放ラジオ難聴解消支援事業
地上基幹放送等に関する耐災害性強化支援事業

# 新たな生活様式に応じた地域情報化の推進

- 新型コロナウイルス感染症の拡大により、ソーシャルディスタンスを確保した新たな生活様式への対応が求められ、インターネットの利用やテレワークなどの機会が増大しています。
- 地域情報化アドバイザーの派遣やセミナーの開催を通して、新たな生活様式に応じた地域情報化を推進します。

## インターネットリテラシーの向上

小中高校生、保護者等向けの講座の開催



## ICT利活用の推進

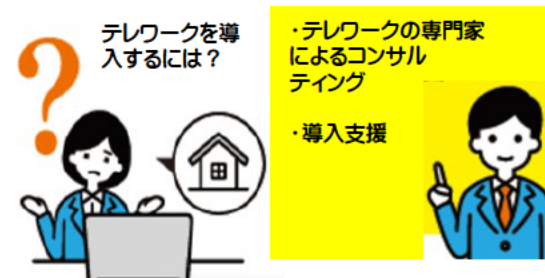
地域情報化アドバイザーの派遣



## テレワークの普及展開

テレワークマネージャー事業

専門家が無料でアドバイスを実施



## デジタル格差の是正

デジタル支援活動員によるe-TAXなどの説明



## 普及啓発活動

地域情報化セミナーの開催

デジタルネイティブがつなぐ新たな道  
(令和3年3月2日開催)



## セキュリティ対策

**CYDER** <実践的サイバー防衛演習>

自治体等向けの体験型の防御演習を実施

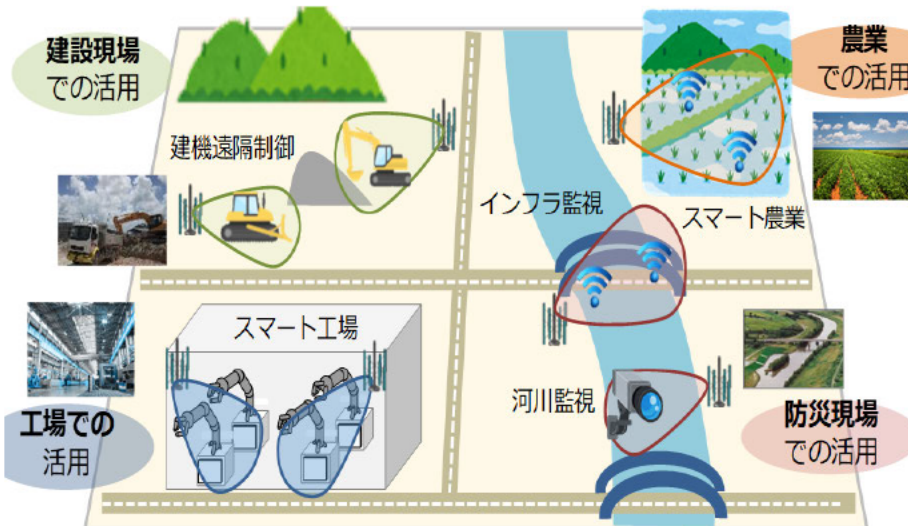


# ローカル5G等のICTの活用による地域課題の解決（スマート農業）

- 北海道の主要産業である農業は、国土の1/4の耕作面積を有し、稲作、畑作、酪農など土地利用型農業を展開していますが、近年、農家戸数の減少、高齢化、労働力不足などの課題を抱えています。
- 道内自治体や関係府省との連携を図りながら、ローカル5G等のICTを活用した課題解決の取組として、開発実証も推進します。

## 課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証

### 建物内や敷地内で自営の5Gネットワークとして活用



<令和2年度 採択案件>  
全国19件(北海道2件)>

- 農業3件（北海道 岩見沢市 1件）、
- 観光・eスポーツ3件（北海道 旭川市 1件）、
- 工場4件、
- 医療・ヘルスケア3件、
- 漁業、モビリティ、インフラ、防災、防犯、働き方、それぞれ1件

## 【令和2年案件 岩見沢市（自動トラクター）】

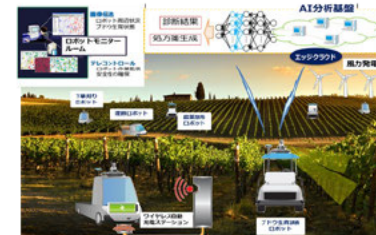
実施時期：令和2年7月～令和3年3月

実施体制：NTT、NTT東、NTTドコモ、北海道大学、岩見沢市 等



(参考) 浦臼町（ブドウ栽培）

令和2年度、ローカル5GやAIを活用ブドウ栽培のスマート農業化を目指し、NTT東、北海道大学、浦臼町、北海道ワイン等がF/S調査を実施



# ICT分野の新たな産業創出

- 令和2年7月、札幌・北海道スタートアップ・エコシステム推進協議会が、内閣府が推進する世界に伍するスタートアップ・エコシステム拠点形成戦略に係るスタートアップ・エコシステム拠点都市（推進拠点都市）に認定されました。
- ICTを活用できる人材やベンチャー企業の育成、新たな技術の研究開発や開発実証等を通じて、ICT分野の新たな産業の創出を推進します。

## 起業家を志す学生・ICTベンチャー企業の育成

令和2年度 ICTを活用した新たなビジネスプランを競い合う北海道内のコンテストで優れたプランを発表し、全国大会へ出場した学校・企業



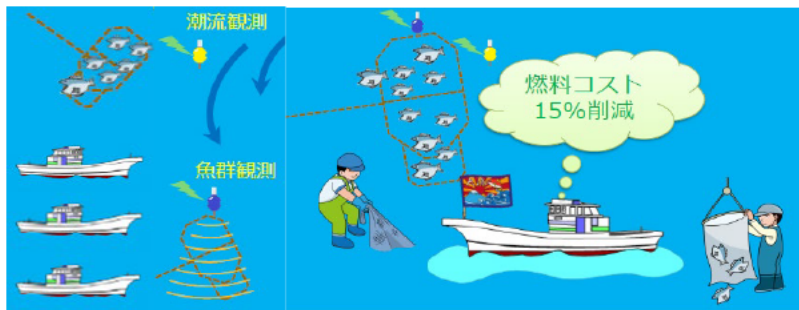
株式会社エアシア



旭川高等専門学校（北国のひぐま軍団）

## 研究開発の推進

漁船排出CO2の削減を目的としたICTを活用した定置網漁支援に関する研究開発（研究期間：平成26～28年度）  
くはこだて未来大学 教授 和田雅昭氏>



## 多種多様な異能人材の発掘・育成

地域発の破壊的イノベーションの種を育成し、多種多様な異能人材を発掘

<北海道の異能vationネットワーク拠点>

SAPPORO Incubation Hub DRIVE(札幌市)  
D-School北海道(札幌市)  
株式会社HARP(札幌市)

学校法人札幌日本大学学園  
札幌市日本大学高等学校(北広島市)

サイエンス・サポート函館(函館市)

<総務省 異能vationより>



## 新産業創出に向けた開発実証の推進

令和2年度 課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証  
実証分野：eスポーツ（北海道旭川市／東京都千代田区）



# I C Tを活用した防災・減災対策の推進

- 頻発化、激甚化する自然災害や想定される大規模地震等に備え地域の強靱化が急務です。
- 災害情報等を住民に確実に伝達できるよう地域特性に応じた情報伝達手段の多様化・多重化を支援するとともに、通信・放送の安全・信頼性の向上を図ります。
- 大規模災害が発生したときは、「総務省・災害時テレコム支援チーム（MIC-TEAM）」を現地対策本部に派遣するとともに、移動通信機器等を地方公共団体等に貸与するほか、臨時災害放送局の開設支援を通じて地域の通信等を確保します。

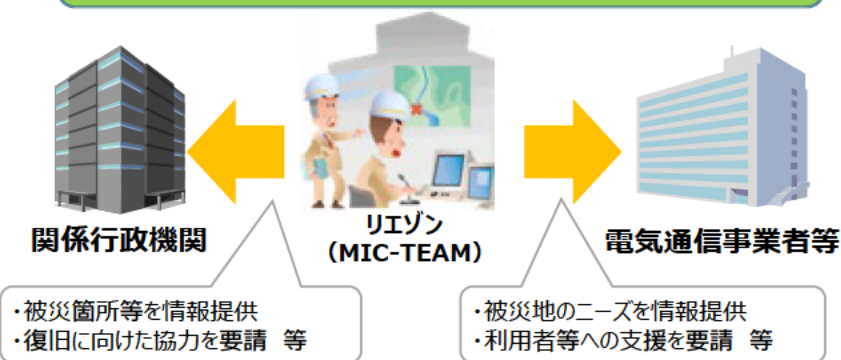
## 被災した地方公共団体へのリエゾン派遣



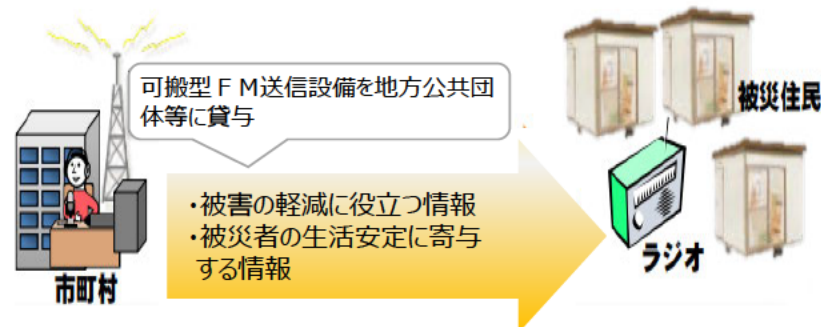
## 移動通信機器・電源車の貸与



## 関係行政機関・事業者等との連絡調整



## 臨時災害放送局の開設支援（設備の貸与）



# 電波を安心・安全に利用できる環境の推進

- 私たちの生活の中では、不法に開設された無線局や国内の技術基準に適合しない無線機器の使用による混信や、病院内での不適切な携帯電話利用による医療機器への妨害などにより、安心した電波利用環境が脅かされるおそれがあります。
- 携帯電話や防災行政無線等の重要無線通信をはじめ、いろいろな用途で使われる無線局を正常に運用することができる安心・安全な電波利用環境を構築します。また、これにより東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の円滑な運営の一翼を担います。

## 重要無線通信の安定した運用の確保

- 通信障害に対し妨害源の探査・排除を行い、重要無線通信の安定した運用を確保します。



## 国内で使用できない無線機器や違反運用の排除

- 電波利用ルールの周知・啓発や調査・取締りにより、国内で使用できない無線機器や違反運用を排除します。



## 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の円滑な運営の支援

- 混信電波の探査・排除により、大会で使用される様々な無線通信の運用を確保し、円滑な運営を支援します。



## 電波や電波利用に必要な理解の普及推進

- 医療機器等に支障を与えないためのルールの説明会などで電波や電波利用への疑問に答え、必要な理解の普及を推進します。

